

1・2年 B年度

内容解説資料

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
みんなと なかよくするって？	4月 (2)	(内容項目を限定しない) 1 どうとくが はじまるよ	道徳科で何を学ぶのか、どのように学ぶのかについて考えさせながら、1年間の道徳科の学びの見通しをもたせ、意欲的に道徳科を学んでいこうとする実践意欲を育てる。	★道徳科とは、何をどのように学ぶ時間なのでしょう。 ①教科書P4・5「どうとくで学ぶ19のとびら」を見て、1年生の道徳科の学習を振り返りながら、道徳科ではどんなことを考えていくのか、改めて理解する。 ②教科書P6・7「みんなで 気もちよく 話し合うためのこつ」を見て、話し合いをするときに大切な「こつ」について理解する。 ③「みんなで 気もちよく 話し合うためのこつ」を使って、自分がどんなときに「うれしいな。」と思うかについて話し合う。 ④教科書P8・9「どうとく みちあんない」を見て、これから1年間の学びの見通しをもつ。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	【自己を見つめる】 19の「とびら」を見て、自分が興味があるのはどの道徳的価値なのかを考えている。 【多面的・多角的に考える】 話し合いの「こつ」を使って話し合いながら、自分とは違う友達の考えを聞くよさを確認している。	
	4月 (3)	【きそく正しい生活】 A (3) 節度、節制 2 二年生になって	1年生時と2年生時のかなこの生活の様子を比べる活動などを通して、気持ちのよい生活をするために大切なことを考えさせ、わがままをしないで健康や安全に気をつけ、規則正しい生活をしようとする実践意欲を育てる。	★気もちのよい 生活をするには、どんなことが 大切なのでしょう。 ①2年生になってできるようになったことはあるかを思い起こし、出し合う。 ②「二年生になって」を読み、1年生のかなこは、「①」の吹き出しでどんなことを考えたか想像し、発表する。 ③2年生のかなこが、気持ちよく過ごせているのはどうしてかを考え、話し合う。 ④気持ちのよい生活をするために、どんなことをがんばりたいかを考え、発表する。 ▼気持ちのよい生活をするためにも、けがをしったり、かぜをひいたりしないようにする心構えをもつ。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○規則正しい生活がよりよい自分の成長につながることのよさを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 2年生になってできるようになったことはどんなことか、また、規則正しい生活をしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 身の回りのことをきちんとしてできたときと、できなかったときの両面から、規則正しく生活することについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分のことを自分できちんで行うために、どうしていこうかと考えている。	安全教育
	4月 (4)	【気もちのいいあいさつ】 B (8) 礼儀 3 あいさつ月間	男の子の挨拶についての父との対話から、大切なことに気づく「わたし」の姿などを通して、気持ちのよい挨拶について考えさせ、心を込めた挨拶や言葉遣い、動作などをしようとする心情を育てる。	★「気もちのいいあいさつ」とは、どんなあいさつなのでしょう。 ①自分が「気もちがいい」と思う挨拶を実演して、見せ合う。 ②「あいさつ月間」を読み、男の子の挨拶はどんなところが「気もちのいいあいさつ」だったかを考え、発表する。 ③お父さんに「声を出すことだけが 大切なかな。」と言われたとき、「わたし」はどんなことを考えたかを想像し、話し合う。 ④「気もちのいいあいさつ」とは、どのような挨拶なのかを考え、話し合う。 ▼自分は「気もちのいいあいさつ」ができていないかを振り返る。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○相手に伝わる挨拶や言葉遣い、動作などを行うことのよさを感じたときの思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分は普段、どのように挨拶しているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、気持ちのよい挨拶とは、どんな挨拶かについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分も相手も気持ちよくなるために、どのような挨拶や言葉遣い、動作をしていこうかと考えている。	特別活動(学校行事)

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
みんなと なかよくするって？	5月 (2)	【きまりを まもる】 C (10) 規則の尊重 4 (9) どうして こう なるのかな	校内で起こりうる問題を描いた 絵から気づいたことを話し合う 活動などを通して、約束やきまり を守る意義を考えさせ、進んで約 束やきまりを守り、みんなが使う 物を大切にしようとする判断力 を育てる。	★やくそくや きまりは、どうして まもらなければ いけな いのかな。 ①自分たちの学校にどんな約束やきまりがあるか思い出し、 発表する。 ②「どうして こう なるのかな」を読み、「①」「②」 「③」の場面は、どんなきまりを守らなかったために起こ った出来事なのかを考え、発表する。 ③約束やきまりを守ると、どんないいことがあるかを考え、 話し合う。 ④巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○進んで約束やきまりを守り、みんなが使う物や場所を大切に しようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、きまりや約束を守っているか、また、皆が使う場所や 物を大切にしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 さまざまな状況を想定して、きまりや約束を守ることの意義 について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これから、どんな気持ちできまりや約束を守っていこうかと 考えている。	法教育
	5月 (3)	【がっこうで たのしく】 C (14) よりよい学校生活、 集団生活の充実 5 (18) とりかえっこ	幼稚園生の自分と入れ替わった けんごが、学校の楽しさを聞いて 気持ちが変わる話などを通して、 学校にはどんな楽しさやよさがある か考えさせ、学校生活を楽 しくしようとする実践意欲を育 てる。	★がっこうには、どんな たのしいことや いい ことが、 あるでしょう。 ①学校で楽しいなと感じたことを思い起こし、出し合う。 ②「とりかえっこ」を読み、幼稚園生のけんごは、小学校でど んな楽しいことを見つけたか考え、発表する。 ③「あしたも とりかえっこして くれる？」ときかれて、1 年生のけんごが「だめだよ。」と言ったのはどうしてかにつ いて考え、話し合う。 ④自分の学校やクラスの楽しいところについて考え、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○学校生活を楽しくしようとする思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 小学校に入学してから経験した楽しいことやうれしいこと、ま た、できるようになったことなどについて振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの登場人物の立場から、学校やクラスには、さまざ まなよさがあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 学校で前向きに楽しく生活するために、自分にはどんなこと ができるかを考えている。	
	5月 (4)	じょうほうとむき合う 【してよいこと、いけない こと】 A (1) 善悪の判断、自律、 自由と責任 6 角がついた かいじゅう	友達の作品に勝手に手を加えた たくみの姿などを通して、してよ いことか、してはいけないことか を考えさせるのはどうして大切 なのかを考えさせ、善悪を区別 し、正しいことをしようとする判 断力を育てる。	▼誰かがかいた物や作った物はどう扱えばよいのかを、「角が ついた かいじゅう」を通して考えることを確認する。 ★してよいことか、してはいけないことかを 考えるのは、ど うして大切なのでしょう。 ①してはいけないことと思わずにしてしまったことはある かを振り返る。 ②「角がついた かいじゅう」を読み、たくみくんはどんな気 持ちでのりおくんの作品に角を付けてしまったのかを考え、 発表する。 ③のりおくんの姿を見て、たくみくんはどんなことに気がつ いたかを想像し、話し合う。 ▼誰かのものを使ったり、誰かがかいたものをまねしたいと思 ったりしたときはどうすればいいかを、教科書P28・29のコラム「ど うして 声をかけるのかな」を読み、考える。 ④巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○してはいけないことをしてしまった後悔とともに、「してよ いこと」と「してはいけないこと」を区別することの大切さ について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 してはいけないことを、してしまっていないかと、自分を 見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 してよいこととしてはいけないことを区別することの大切 さや難しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 してよいこととしてはいけないことを区別して行動するた めに、どんな気持ちを大切にしていこうかと考えている。	図画工作科 情報モラル 法教育
適宜		★コラム★ <じょうほうとむき合う> どうして 声をかけるのかな A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任／C (10) 規則の尊重				図画工作科 情報モラル

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
みんなと なかよくするって？	6月 (1)	【友だちとなかよく】 B (9) 友情、信頼 7 けんかをしたけど	泥だんごを巡ってけんかをしたが、その後仲直りした「ぼく」としんごのやり取りなどを通して、友達と仲よくするために大切なことは何かについて考えさせ、けんかをしても、友達と仲直りしようとする判断力を育てる。	★友だちと なかよくするために 大切なことは、何でしょう。 ①友達とけんかをしてしまったとき、どうしているかを振り返り、発表する。 ②「けんかをしたけど」を読み、「わざとじゃないもん！」と言い返したとき、「ぼく」はどんなことを思っていたかを想像し、出し合う。 ③「けんかをしたけど、ぼく、やっぱり——。」とつぶやいたとき、「ぼく」は、どんなことを思っていたかを考え、話し合う。 ④友達と仲よく過ごすためにはどんなことが大切かを考え、話し合う。 ▼けんかをして自分から謝れたことはあるか思い起こす。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○友達とけんかをしても、相手の立場を理解したり、自分の行動を省みたりして仲直りする大切さを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 友達とけんかをしたときに、自分自身の行いを振り返り、自分から仲直りしようとしているかと自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達との関係性がよいときもよくないときもあることを意識したうえで、友達という存在のよさや大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 友達といっしょに活動して楽しかったことや友達と助け合ってたよかったことなどを思い起こし、友達を大切にしようと考えている。	共生
	適宜	★ころをかわそう★ 友だちと なかよくなるために 自分のことを つたえよう C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実 年間を通して、適宜、「友だちと なかよくなるために 自分のことを つたえよう」を読み、自分のことを伝え合う活動を通して、クラスでの生活を楽しくすることについての意識をもつ。				
	6月 (2)	【すきな ことを みつけよう】 A (4) 個性の伸長 8 (3 1) 「すき」から うまれた「そらめくん」	好きなことを生かして絵本作家になった「なかやみわさん」の話などを通して、自分の好きなことやいいところを見つけることについて考えさせ、自分の特徴に気づこうとする実践意欲を育てる。	★じぶんの すきなことや じぶんの いいところを みつけましょう。 ①「そらめくん」が出てくる絵本を読んだ経験はあるかを確認する。 ②『「すき」から うまれた『そらめくん』』を読み、好きなことをしているとどんな気持ちになるかを考え、発表する。 ③ヒントを基に、自分の好きなことやいいところを見つけて、話し合う。 ④巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○自分の好きなところやいいところを見つけ、自分の特徴に気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の好きなことやいいところはどんなところか、また、それを伸ばそうとしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、好きなことを見つけたり、それを伸ばしたりすることのよさについて、考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の好きなことやいいところを、どのように伸ばしたいかを考えている。	図書館活用 キャリア教育
	6月 (3)	【やさしい気持ちで】 B (6) 親切、思いやり 9 どきどきしたけど	どきどきしながらも人に親切にした3人の話などを通して、人に優しくすることはどうして大切なのかを考えさせ、身近な人に温かい心で接し、進んで親切にしようとする心情を育てる。	★人に やさしくすることは、どうして 大切なのでしょうか。 ①周りの人に優しくしようかどうか迷ったことはあるか思い起こし、出し合う。 ②「どきどきしたけど」を読み、3本それぞれの話の中で、そうたさん、みおさん、はるきさんは、どうしてどきどきしていたのかを想像し、発表する。 ③そうたさん、みおさん、はるきさんが声をかけることができたのは、どんな気持ちがあったからなのかを考え、話し合う。 ④周りの人に優しくすると、どんな気持ちになるかを考え、話し合う。 ▼周りの人に助けてもらおうと、どんな気持ちになるかを想像する。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○身近な人に温かい心で接し、親切にしようとする心について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 困っている人にどんなふうに関わっているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 さまざまな場面や立場を想定して、思いやりのある行動を取るための大切さや難しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 誰かが困っている場面に会ったときに、どのような気持ちをもって行動していこうかと考えている。	共生 福祉に関する教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
みんなと なかよくする って？	6月 (4)	【しぜんに親しむ】 D (18) 自然愛護 10 ダンゴムシの まるちゃん	庭で見つけたダンゴムシを飼おうとする「わたし」と姉の会話などを通して、生き物と仲よくすることについて考えさせ、身近な自然に親しみ、優しい心で接していこうとする実践意欲を育てる。	★生きものと なかよくできているか、考えましょう。 ①生き物を育てたことはあるかを思い出し、出し合う。 ②「ダンゴムシのまるちゃん」を読み、「わたし」はどんなことを考えて、「ゆうえん地みたいな 家がいいな。」と言ったのかを考え、出し合う。 ③「まるちゃん、よろこんでくれると いいな。」と言ったとき、「わたし」はどんなことを思っていたかを想像し、話し合う。 ④自分はどんな生き物と仲よくしたいか、また、その生き物にどんなことをしてあげたいと思うか考え、発表する。 ▼生活科で生き物の世話をしたことを振り返る。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○身近な自然や生き物に優しい心で接していこうとする思いを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 日頃、身近な動植物に優しい心で接しているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 動植物に対するいとおしさを感じるだけでなく、それらをもつ不思議さや力強さについても考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自然や動植物と触れ合う中で、それらに愛情や親しみを持ち、大事に守り育てていこうと考えている。	生活科 共生 環境教育	
	適宜	★学びのじゅんぴ★ 小さなころと くらべてみよう D (17) 生命の尊さ 次の「もうすぐ八さい」の学習の準備として、小さな頃と比べて自分が変わってきたなと思うところを思い起こして書き留めておく。					
	7月 (1)	【かわっていくわたし】 D (17) 生命の尊さ 11 もうすぐ八さい	自分の成長に気づいた「わたし」の姿などを通して、生きていくとどんなところが変わっていくのかを考えさせ、生きることの不思議さやすばらしさを感じ、生命を大切にしようとする心情を育てる。	★生きていくと、どんなところが かわっていくでしょう。 ①「生きていく」ってどういうことか考えたことはあるか、出し合う。 ②小さな頃と比べて変わってきたなと思うところを発表する。 ③「もうすぐ八さい」を読み、「八年 生きたら、もっとかわるかな。」と思った「わたし」は、どんな気持ちだったかを考え、話し合う。 ▼生きていくと変わっていくことについて、家の人と話し合う。 ④巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○「わたし」の気持ちと重ね合わせながら、自分の成長を感じ、命を大切にしていこうと考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 以前に比べて自分のこんなところが変わってきたなと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分の成長に気づくだけでなく、これまでの自分の成長を支えてくれた家族の思いにまで考えを広げ、命の大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の変化を通して、生きていくことの不思議さやすばらしさを実感し、命を大切にしようと考えている。		
7月 (2)	【ありがとうをつたえよう】 B (7) 感謝 12 ありがとうの手紙	身近な人の温かさへの感謝の気持ちを書いた児童の手紙などを通して、「ありがとう」を伝えるとどんな気持ちになるのかを考えさせ、日頃お世話になっている人々に感謝しようとする実践意欲を育てる。	★「ありがとう」をつたえたい人に、「ありがとう」の気持ちを伝えよう。 ①「ありがとう」の気持ちを周りの人に伝えているかを振り返り、発表する。 ②教科書 P54・55 の「ありがとうの手紙」を読み、この手紙を書いた人は、誰に、どんな気持ちで「ありがとう」を伝えているのかを考え、発表する。 ③自分は、誰に、どんな「ありがとう」の気持ちを伝えたいか考え、話し合う。 ④自分が「ありがとう」を伝えたい人に、「ありがとう」の気持ちを伝える。 ▼「かんがえるヒント」(こんなかつどうで 考えることもできるよ)を適宜、活用する。 ▼「ありがとう」を伝えられた人はどんな気持ちになるかを想像し、出し合う。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○日頃お世話になっている人に、感謝の気持ちを伝えることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 周りの人に対して、感謝の気持ちを伝えているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 児童の手紙を読んだり、友達の考えを聞いたりして、さまざまな人に対する、さまざまな感謝の気持ちがあることや、感謝の気持ちをもつことのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 感謝の気持ちを伝えることの大切さに触れたうえで、これから、感謝の気持ちをどのように伝えていこうかと考えている。	国語科 図画工作科 共生		

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
みんな なかよくする って？	○「学習のまとめり」を振り返った評価(4～7月) ここまでで学んだ、【A(3) 節度、節制】【B(8) 礼儀】【C(10) 規則の尊重】【C(14) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A(1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【B(9) 友情、信頼】【A(4) 個性の伸長】【B(6) 親切、思いやり】【D(18) 自然愛護】【D(17) 生命の尊さ】【B(7) 感謝】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びのきろく」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。					
	適宜	★しつもん じゅんぴ たいそう★ 上手に話し合うための練習として、教科書P58・59の「すすめ方」に即して、グループでテーマを決めて話し合い、これからの学習に生かす。				
みんな 力を 合わせる って？	9月 (1)	いじめをゆるさない心 【すごしやすいクラスに】 C(14) よりよい学校生活、 集団生活の充実 13 クラスの大へんしん	様子が異なる二つのクラスの絵を比較させることなどを通して、過ごしやすいクラスにするには、どのような考えが大切なのかを考えさせ、学校やクラスの生活をみんなで過ごしやすいようにとする実践意欲を育てる。	▼友達とどんなふうに過ごしたらよいかを、「クラスの大へんしん」と「やめなさいよ」を通して考えることを確認する。 ★すごしやすいクラスにするためには、どんなことが 大切なのでしょう。 ①自分のクラスの好きなところを振り返り、出し合う。 ②「クラスの大へんしん」の「①」の絵の中で、「これで いいのかな。」と思うのはどんなところかを考え、出し合う。 ③「②」の絵の中で、「『①』の絵と変わったな。」「いいな。」と思うのはどんなところかを考え、話し合う。 ④このクラスは、どんなことに気が付いたから過ごしやすいになったのかを考え、話し合う。 ▼自分のクラスをもっと過ごしやすいするために、どんなことに取り組んでみたいかを考える。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○教材に描かれたクラスと自分のクラスを重ね合わせながら、過ごしやすいクラスにしていこうために、大切にしていきたいことを考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分のクラスのどんなところが好きかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、過ごしやすいクラスにするために大切なことがたくさんあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 クラスでの生活をよりよくするために、どのような気持ちを大切にすればよいかを考えている。	特別活動(学級活動) いじめ問題 共生
	9月 (2)	【よくないと思うことは】 A(1) 善悪の判断、自律、 自由と責任 14 やめなさいよ	けんじの行為を正す「わたし」の姿などを通して、よくないと思うことを見たらどうすればいいのかを考えさせ、よしあしを区別し、よいと思うことを進んで行おうとする判断力を育てる。	★よくないと思うことを見たら、どうすれば いいでしょう。 ①よくないと思ったことを注意したことはあるか振り返り、出し合う。 ②「やめなさいよ」を読み、「わたし」はどうして胸がどきどきしたのかを考え、発表する。 ③けんじくんに「やめなさいよ。」と言ったとき、「わたし」はどんなことを考えていたか想像し、話し合う。 ④したほうがいいと思ったことをすると、どんな気持ちになるか考え、発表する。 ▼教科書P67のコラム「いやな気もちかも しれないよ」を読み、みんなの気持ちを大切にすることについて考える。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○よいこととよくないことを区別し、よいことを進んで実行することの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 正しいと思ったことを勇気をもって行っているか、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 よくないと思うことを指摘することの難しさや、勇気をもってできたときの気持ちよさの両面から、自分が正しいと思うことを行うことのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分で善悪を判断し、正しいことを行うために、自分はどうしていきたいかについて考えている。	いじめ問題
	適宜	★コラム★ <いじめをゆるさない心> いやな気もちかも しれないよ A(1) 善悪の判断、自律、自由と責任／C(14) よりよい学校生活、集団生活の充実				いじめ問題 共生

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
みんな で 力 を 合 わ せ る っ て ？	9月 (3)	【だれに たいしても】 C (11) 公正、公平、社会正義 15 (28) ジャングルジム	ねこを仲間外れにしようとするくまや、仲間外れにされて悲しむねこ、疑問を抱くさるのやり取りなどを通して、誰とでも仲よくすることについて考えさせ、好き嫌いとらわれず接しようとする判断力を育てる。	★だれとでも なかよく することについて、かんがえましょう。 ①自分は、みんなと仲よくできているかを振り返る。 ②「ジャングルジム」を読み、「②の場面」でくまさんはどんな気持ちで「ねこさんは、ちがう ところで あそんでよ。」と言ったのかを考え、発表する。 ③「④の場面」で、くまさんはどんなことを思っていたかを考え、話し合う。 ④「⑥の場面」では、みんなで仲良く遊んでいることを確認し、「⑤の場面」でどんな話をしたか、くまさん、さるさん、ねこさんを演じて、考える。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○好き嫌いとらわれず接しようとすることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、誰とでも仲よくしているか、仲間外れなどをしていないかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの登場人物の立場から、誰とでも仲よくすることの大切さや難しさについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 仲間外れにすることなく、誰とでも仲よくするために、どんなことを大切にすればよいかを考えている。	いじめ問題 共生
	9月 (4)	【しょうじきな ころで】 A (2) 正直、誠実 16 (10) きの おの	正直なきこりとうそつきのきこりの話などを通して、その違いから、正直でいることの大切さについて考えさせ、うそやごまかしをせず、素直に伸び伸びと生活しようとする心情を育てる。	★しょうじきで いる ことが たいせつなのは、どうしてかな。 ①うそをつきそうになるのはどんなときか考え、発表する。 ②「きの おの」を読み、初めのきこりはどうして正直に答えたのかを考え、発表する。 ③神様はどんなことを思っ、きこりに斧を三つともあげたのか考え、話し合う。 ④人はうそをついたとき、どんな気持ちになるか考え、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○うそやごまかしをせず、素直に伸び伸びと生活しようとする ことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、うそをついたりごまかしたりせず正直に過ごしているか、また、どんなときにうそをついてしまうのかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 それぞれの登場人物の立場から、正直でいることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 うそをついたりごまかしたりせず、正直でいるためにはどうすればよいかを考えている。	図書館活用
	10月 (1)	【みんなでつかうものだから】 C (10) 規則の尊重 17 黄色いベンチ	公園のベンチに土足で立って遊んだ二人が、女の子の衣服が汚れてはっとする姿などを通して、公共の物を使う際に大切なことを考えさせ、みんなが使う物を大切にしようとする実践意欲を育てる。	★みんなでつかうものを つかうときに 大切なことは、何でしょう。 ①みんなで使う物にはどんなものがあるかを思い起こし、出し合う。 ②「黄色いベンチ」を読み、たかしとてつおはどんな気持ちでベンチに上ったのかを考え、発表する。 ③「はっ。」として、顔を見合わせたたかしとてつおは、どんなことを考えたかを演じて考え、話し合う。 ▼教科書P72の「かんがえるヒント」(えんじてかんがえよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ④みんなで使う物を使うときは、どんなことに気をつければよいかを考え、話し合う。 ▼自分の学校では、みんなで使う物を使うとき、どんなきまりがあるかを思い起こす。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○公共の物を使うときに大切なことについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 身の回りにある公共の物を大切に使っているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 公共の物を使うときには、どんなことに気をつけるのか、また、気をつけないとどうなるのかについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 公共の物を使うときに気をつけることについて考え、自分の生活に生かそうとしている。	法教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり	
みんな で 力 を 合 わ せ る っ て ？	10月 (2)	【じぶんの しごとをし っかりと】 A (5) 希望と勇気、努力と 強い意志 18 (21) おふろそうじ	風呂掃除に前向きに取り組むあ きらの姿などを通して、勉強や仕 事をしっかりとすることの気持ち よさについて考えさせ、自分のや るべきことをしっかりと行おう とする心情を育てる。	★じぶんの しごとを しっかりと すると、どんな きもち に なるでしょう。 ①自分が「がんばったな。」と思うのはどんなことかを思い起 こし、出し合う。 ②「おふろそうじ」を読み、家の人に褒められたとき、あきら まはどんなことを思ったかを考え、発表する。 ③あきらまはどんな気持ちで「ぼく、やるもん。」と言ったのか を考え、話し合う。 ④自分の仕事や勉強で、がんばってできるようになったこと や、上手になったことがあるかを思い起こし、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○自分のやるべきことをしっかりと行おうとすることについ て考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分がやるべき勉強や仕事をしっかりと行っているか、続け ているうちにできるようになったことや、上手になったこと があったかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分の仕事ややるべきことをしっかりとすることのよさ、ま た、そのために必要な意志の強さに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからも、やるべきことに前向きに取り組むためには、ど うすればよいかを考えている。	キャリア教育	
	適宜	★なんだろう なんだろう★ じぶんらしい「たのしい」って、なんだろう。 関連する内容項目 A (4) 個性の伸長 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志／B (9) 友情、信頼／C (11) 公正、公平、社会正義 家庭学習や朝の読書活動の時間などを活用して、「なんだろう なんだろう」を読み、自分にとっての「楽しい」とは何なのか、考えてみる。					
	○「前期」を振り返った評価(4～10月2週目) ここまでで学んだ、【A (3) 節度、節制】【B (8) 礼儀】【C (10) 規則の尊重】【C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【B (9) 友情、信頼】【A (4) 個性の伸長】 【B (6) 親切、思いやり】【D (18) 自然愛護】【D (17) 生命の尊さ】【B (7) 感謝】【C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【C (11) 公正、公平、社会正義】【A (2) 正直、誠実】【C (10) 規則の尊重】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びのきろく」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						
	10月 (3)	【自分をすきになる】 A (4) 個性の伸長 19 どうして うまく いかないのかな	何をやってもうまくいかずに悩 む「わたし」が、自分のよさに気 づく姿などを通して、自分を好き になると、どんな気持ちになるか を考えさせ、自分の特徴に気づ き、よさを大事にしようとする心 情を育てる。	★自分を すきになると、どんな気もちに なるでしょう。 ①何かをして、うまくいかないかと思ったことがあるかを振 り返り、出し合う。 ②「どうして うまくいかないのかな」を読み、自分のするこ とがうまくいかないとき、「わたし」はどんなことを思っ ていたかを考え、発表する。 ③「わたし」は、どうして自分のことが前よりも好きになっ てきたのかを想像し、話し合う。 ④自分のどんなところが好きか、友達と教え合う。 ▼「かんがえるヒント」(こんなかつどうで 考えること もできるよ)を適宜、活用する。 ▼自分の好きなところ探しを、これからも続けるよう促す。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○自分の特徴に気づき、よさを大事にしようとする思いについ て考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分のよさや、自分ががんばっていることについて、自分 を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物の姿や友達の考えを基に、自分を好きになると、 どんな気持ちになるかについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分のよさを見つけたり伸ばしたりするには、どんな気持 ちが大切かを考えている。	特別活動(学級活動) キャリア教育	

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的活动は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
みんなで 力を合わせるって？	10月 (4)	【はたらくことのよさ】 C (12) 勤労、公共の精神 20 おでこのあせ	しかたなく参加した町のごみ拾いに、徐々にやりがいを感じて働くあつしの姿などを通して、働くことのよさを考えさせ、みんなのために働こうとする心情を育てる。	★はたらくことのよさは、何でしょう。 ①家や学校で、どんな仕事をしているかを振り返り、出し合う。 ②「おでこのあせ」を読み、お父さんのごみ拾いの様子を見つめながら、あつしはどんなことを考えていたかを想像し、出し合う。 ③「よし、学校まで もう少しだ。がんばろう。」と言ったとき、あつしはどんな思いだったかを考え、話し合う。 ④一生懸命働いたことがあるか、また、そのときどんな気持ちになったかを振り返り、発表する。 ▼今日考えた働くことのよさを、家の人に教える。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○働くことは、周りの人の役に立ち、自分も成長ができることであるということについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分の仕事にどんな姿勢で取り組んでいるかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 登場人物や友達の考えを基に、一生懸命働くこととどんな気持ちになるかについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 仕事に取り組むときに、どんなことを心がけていきたいかを考えている。	社会参画に関する教育
	11月 (1)	【だれにたいしても】 C (11) 公正、公平、社会正義 21 雨ふり	仲よしの友達だけを傘に入れようとして断られ、はつとしたふみおの気づきなどを通して、誰にでも同じように接する気持ちが大切な訳を考えさせ、好き嫌いにとらわれず、公正、公平に接しようとする心情を育てる。	★だれにたいしても、同じように 何かをする気持ちをもつことは、どうして大切なのでしょう。 ①雨のとき、傘に入れてもらった経験があるかを振り返り、出し合う。 ②「雨ふり」を読み、「入れて。」と言われたとき、ふみおさんはどんなことを考えたかを想像し、発表する。 ③ふみおさんは、はつとしたとき、どんなことに気がついたかを考え、話し合う。 ④これから周りの人にどんな気持ちをもっていたいかを考え、発表する。 ▼もう一度、ふみおさんが二人に「ふみおくん、入れて。」と言われたら何と答えるか、今日学んだことを生かして演じて考え、話し合う。 ▼教科書P72の「かんがえるヒント」(えんじてかんがえよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ▼「かんがえるヒント」(どうとくでつかうことば)を読み、発表や話し合いの場面で活用する。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○好き嫌いにとらわれず、公正、公平に接するために大切な気持ちについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 誰に対しても好き嫌いにとらわれずに接しているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 誰に対しても同じように、態度を変えることなく接することの大切さや難しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 誰に対しても同じように接するためには、どんな気持ちを大切にしていこうかと考えている。	いじめ問題 共生
	11月 (2)	【ともだちの ことを かんがえて】 B (9) 友情、信頼 22 (22) 二わの ことり	やまがらの誕生祝いに行くか、うぐいすの家の音楽会の練習に行くかで迷うみそさざいの姿などを通して、友達のためにできることについて考えさせ、友達と仲よくし、助け合おうとする心情を育てる。	★ともだちの ために できる ことを かんがえましょう。 ①友達がいてよかったと思うのは、どんなときかを振り返り、出し合う。 ②「二わの ことり」を読み、迷ったみそさざいが、うぐいすのうちに飛んでいったのはどうしてかを考え、発表する。 ③みそさざいはどんなことを考えながらやまがらのうちへ行ったのかを考え、話し合う。 ④2羽の小鳥が、お誕生日のお祝いってどんな話をしたかを演じ、考えたことを話し合う。 ▼教科書P80の「かんがえる ヒント」(えんじて かんがえよう)を読み、役割演技をする際に活用する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○友達と仲よくし、助け合おうとすることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 友達といっしょでよかったと思った経験はあるか、友達にどんなことをしてあげたり、してもらったりしているか、自分を振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、心から友達を思うことのよさや美しさについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 友達に対して、自分はどんなことができるかを考えている。	いじめ問題

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
みんなで 力を合わせるって？	11月 (3)	【あいさつをきちんと】 B (8) 礼儀 23 (20) わすれて いる こと、なあい	つい挨拶を忘れる「ぼく」の姿などを通して、きちんと挨拶することの大切さについて考えさせ、感謝や謝罪の気持ちを素直に言葉や態度で伝えようとする判断力を育てる。	★きちんと あいさつする ことは、どうして たいせつなのでしょう。 ①自分は日頃、きちんと挨拶ができているかを振り返り、発表する。 ②「わすれて いる こと、なあい」を読み、「ぼく」が「ありがとうございます。」と言ったとき、保健の先生はどうしてにっこりしたのかを考え、発表する。 ③「ぼく」もひろくもにっこりしたとき、「ぼく」はどんな気持ちだったか考え、話し合う。 ④きちんと挨拶することはどうして大切なのかを考え、話し合う。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○感謝や謝罪の気持ちを素直に言葉や態度で伝えることの大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段から、きちんと挨拶しているか、気持ちのよい言葉遣いや振る舞いをしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 さまざまな場面を想定して、きちんと挨拶することや、気持ちのよい言葉遣いや振る舞いをすることの意味について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 相手とコミュニケーションを取るときに、どんな気持ちが大切かを意識していこうとしている。	共生
	11月 (4)	【しんせつに すると】 B (6) 親切、思いやり 24 (27) はしの うえの おおかみ	うさぎやきつねに意地悪をしていたおおかみが、くまに親切にされて改心する姿などを通して、誰かに親切にしたときの気持ちを考えさせ、相手を思いやり、優しく接しようとする心情を育てる。	★だれかに しんせつに すると、どんな きもちに なるでしょう。 ①これまでに、つい意地悪をしてしまった経験はないかを振り返る。 ②「はしの うえの おおかみ」を読み、おおかみはくまの後ろ姿を見送りながら、どんなことを考えていたかを想像し、発表する。 ③P95で「えへん、へん。」と言ったときと、P98で「えへん、へん。」と言ったときのおおかみの気持ちの違いを考え、話し合う。 ④誰かに親切にしたことはあるか、また、そのときどんな気持ちになったかを振り返り、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○相手を思いやり、優しく接しようとする心のよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、誰に対しても、温かい心で接しているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 つい意地悪をしてしまう気持ちと、人に親切にしたいという気持ちの両面から、誰に対しても親切にすることのよさや難しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 これからの自分は、相手にどんな思いをもって接していきたいかを考えている。	いじめ問題
	12月 (1)	【生きていることのすごさ】 D (17) 生命の尊さ 25 (24) ぼくの かさぶた	傷が治ったことから、体は毎日新しくなることを知り、生きていることのすばらしさを実感したりつ姿などを通して、生きていることの不思議やすごさを見つめさせ、生命を大切にしようとする心情を育てる。	★生きていることの すごさを 見つめましょう。 ①けがをしかさぶたができたことはあるかを振り返り、出し合う。 ②「ぼくの かさぶた」を読み、膝がきれいに治ったとき、りつさんはどんなことを思ったか考え、発表する。 ③自分の体を見つめながら、りつさんはどんなことを考えたか想像し、話し合う。 ④「生きているって、すごいな。」と思うことを見つけて、友達に紹介する。 ▼自分の体にどんな言葉をかけたいか考える。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○生きていること不思議やすごさを見つめ、命を大切にすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 かさぶたができてけがが治ったり、爪が伸びたりといった、あたりまえのことで見過ごしがちな「生きているあかし」を実感することで、生きていることのすばらしさを見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分の成長に気づくだけでなく、これまでの自分の成長を支えてくれた家族の思いにまで考えを広げ、命の大切さについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の体が新しくなることを通して、生きていること不思議やすばらしさを実感し、命を大切にしようと考えている。	健康教育
	適宜	★かんじよう いのち★ D (17) 生命の尊さ 身の回りにある物を触って、いろいろなことを感じるのは生きているからこそであることを実感し、生きているすばらしさを感じ取る。	どんなかんじが するかな。			

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
みんな で 力 を 合 わ せ る っ て ？	12月 (2)	【かぞくの ために】 C (13) 家族愛、家庭生活の 充実 26 (25) これなら できる	家族の中で自分にできることを 探して行動する まり の姿など を通して、家族のために何かがで きたときの気持ちについて考え させ、進んで家の手伝いなどをし て家族のために役に立とうとす る心情を育てる。	★かぞくの ために なにかが できた とき、どんな きも ちに なるでしょう。 ①「これなら できる」を読み、「これなら できる。」と言っ たとき、まりはどんなことを考えていたかを想像し、発表 する。 ②まりはどうして他にもできることを増やしたくなっ たのかを考え、話し合う。 ③自分が家族のために「これなら できる。」と思うことは何 かを考え、発表する。 ④巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○家族のために役に立つことのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段、家族のためにどんなことをしているか、また、どんな 気持ちで取り組んでいるかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、家族のために自分にはいろいろなこと ができることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 家族の役に立つために、自分にはどんなことができるかにつ いて考えている。	生活科 食育
	12月 (3)	【みんなのために】 C (12) 勤労、公共の精神 27 (26) 黒ばんが にっこりするかな	黒板係の仕事に一生懸命に取り 組む「ぼく」の姿などを通して、 みんなのために働くときどんな気 持ちになるのかを考えさせ、働 くことのよさを知り、みんなの ために働こうとする心情を育て る。	★みんなのために はたらくと、どんな気もちに なるでしょ う。 ①自分のクラスには、どんな係があるかを確認する。 ②「黒ばんが にっこりするかな」を読み、「ぼく」は黒板係 の仕事のどんなところを「たいへんだ。」と思っているか考 え、出し合う。 ③先生やみんながにこにこ笑ってくれたとき、「ぼく」はどん な気持ちだったか想像し、話し合う。 ④自分は係の仕事にどんな気持ちで取り組んでいるか振り 返り、発表する。 ▼誰かに褒められなくても自分の仕事をがんばれるか考え る。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○みんなのために働くことのよさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 みんなのためにどんなことをしているかと、自分を見つめ ている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 みんなのために働いたときのやりがいや大変さなどのさま ざまな面から、みんなのために働くことについての考えを 広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の仕事をしっかりと行うためにどんな気持ちが必要か について考え、自分の生活に生かそうとしている。	特別活動(学級活動) 社会参画に関する教育
○「学習のまとめ」を振り返った評価(9～12月) ここまでで学んだ、【C (14) よりよい学校生活、集団生活の充実】【A (1) 善悪の判断、自律、自由と責任】【C (11) 公正、公平、社会正義】【A (2) 正直、誠実】【C (10) 規則の尊重】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】【A (4) 個性の伸長】【C (12) 勤労、公共の精神】【C (11) 公正、公平、社会正義】【B (9) 友情、信頼】【B (6) 親切、思いやり】【B (8) 礼儀】【B (6) 親切、思いやり】【D (17) 生命の尊さ】【C (13) 家族愛、家庭生活の充実】【C (12) 勤労、公共の精神】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びのきろく」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						
自分 を見 つ め る っ て ？	適宜	★学びのじゅんぴ★ お金をつかったことは、あるかな A (3) 節度、節制 次の「お年玉を もらったけれど」の学習の準備として、自分でお金を払って何かを買ったことがあるか、また、自分で使えるお金があつたら何に使いたいかを考えておく。				
	1月 (2)	【よく考えて】 A (3) 節度、節制 28 お年玉を もらったけれど	お年玉を使いすぎ、欲しかったもの が買えなくなったりしようたの 姿などを通して、生活の中で気をつ けなければならないことにつ いて考えさせ、物や金銭を大切に し、よく考えて生活しようとする 判断力を育てる。	★生活の中で、気をつけなければ ならないことについて、考 えましょう。 ①「お年玉」についての経験を思い起こし、出し合う。 ②「お年玉を もらったけれど」を読み、りょうたはどうして カードを何枚も買ってしまったのかを考え、発表する。 ③駄菓子屋でのことを思い出しながら、りょうたはどんなこ とを考えたかを想像し、話し合う。 ④お金を使うときには、どんなことに気をつければよいかを 考え、話し合う。 ▼自分の持っているものを大切に使っているかを考える。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○物や金銭を大切にし、よく考えて生活していこうと考えてい る。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 普段の自分の金銭の使い方について振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、金銭を使うときに考えなければなら ないことはたくさんあるということに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 金銭を大切に使うためには、どんな気持ちが必要かにつ いて考えている。	消費者教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
	1月 (3)	【日本のぶんか】 C (15) 伝統と文化の尊重、 国や郷土を愛する態度 29 おせちのひみつ	おせち料理に込められた意味を知ることなどを通して、昔から伝わるものや料理について考えさせ、我が国や郷土の伝統と文化に親しみ、愛着をもとうとする実践意欲を育てる。	★むかしからつたわる ものやりようについて、考えましょう。 ①日本でできた料理にはどんなものがあるか考え、出し合う。 ②P132・133のおせちの中で、食べたことのあるものはあるか思い起こし、出し合う。 ③「おせちのひみつ」を知って、どんなことを考えたかを話し合う。 ④おせち料理のように願いが込められた日本の物や料理について、知っていることを出し合う。 ▼本を読んで、日本の年中行事について調べる。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○児童が日本の伝統や文化を知り、それに親しんだり、愛着をもったりすることについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 昔から日本に伝わるものについて、自分はどんなことを知っているかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 昔から日本に伝わる物には、さまざまな願いが込められていることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 日本の伝統的な文化や生活のよさを感じ、もっと知りたい、関わりたいと考えている。	図書館活用 食育 伝統文化教育
	1月 (4)	【うつくしいとかんじるもの】 D (19) 感動、畏敬の念 30 (27) きらきら	雪の結晶の写真と詩などを通して、身の回りの自然の美しさなどについて考えさせ、美しいものや清らかなものに触れて生まれる素直な感動やすがすがしい心を大切にしようとする心情を育てる。	★みの回りに あるものの うつくしさについて、考えましょう。 ①教科書P118の写真が何なのか確認する。 ②「きらきら」を読んだり雪の結晶の写真を見たりして、どんなことを思ったかを話し合う。 ③自分が「ふしぎだな」「きれいだな。」と思うものはどんなものかを思い起こし、話し合う。 ▼家の人にどんなものを「ふしぎだな」「きれいだな。」と思うかをさく。 ④巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○身近な美しいものに気づき、素直に感動する心や、すがすがしい気持ちになる心を大切にしようと考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 自分がどんなものに不思議さや美しさを感じているか、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達のことを聞いて、不思議さや美しさを感じるものはさまざまであることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 身の回りの不思議さや美しさを感じ取る心を大切にしようと考えている。	生活科 図書館活用
	2月 (1)	【せかいの こどもたちとともに】 C (16) 国際理解、国際親善 31 (24) せかいの こどもたち	世界の子どものたちの日常生活の写真などを通して、他国の子どもたちのさまざまな生活の様子について考えさせ、他国の人々や文化に親しもうとする実践意欲を育てる。	★ほかの くのに こどもたちの せいかつの ようすについて、かんがえましょう。 ①自分が知っている国の名前を思い起こし、出し合う。 ②「せかいの こどもたち」の写真を見て、写真の子どもたちが何をしているかを想像し、発表する。 ③自分の生活や遊びと似ているところと違うところを探し、発表する。 ④世界の子どもたちとどんなことをいっしょにしてみたいかを考え、話し合う。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○他国の人々や文化に興味をもち、親しもうと考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 他の国のことでどんなことを知っているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 他の国の子どもたちと自分には、似ているところや違っているところがたくさんあることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 世界の人々暮らしについて興味をもち、もっと関わりたいという意欲をもっている。	国際理解教育
	2月 (2)	【みんながささえるいのち】 D (17) 生命の尊さ 32 (31) 空色の自転車	車にはねられ、生死をさまようかんとや、彼を見守り励ます家族や先生の懸命な姿などを通して、命はどうして大切なのかを考えさせ、かけがえのない生命を大切にしようとする心情を育てる。	★いのちは、どうして 大切なんでしょう。 ①毎日楽しく過ごせることのすばらしさについて考えたことはあるかを確認する。 ②「空色の自転車」を読み、お父さんやお母さんはどんな気持ちでかんの世話をしたのかを考え、発表する。 ③足を動かす訓練をしながら、かんとはどんなことを考えていたかを想像し、話し合う。 ④自分の命について、どんなことを考えたかを話し合う。 ▼「11 もうすぐ八さい」と「24 ぼくの かさぶた」で、命について考えたことを振り返る。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○命はかけがえのないものであり、大切にしていかなければならないということについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 毎日楽しく過ごすことについて、自分はどんなことを考えているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 自分の命を生きようとする立場や、命を見守る立場などから、命はどうして大切なのかについての考えを広げている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 生きることのすばらしさに気づき、周りの人に支えられているかけがえのない命を大切にしようと考えている。	安全教育

	月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
自分を見つめるって？	2月 (3)	【正直でいられたら】 A (2) 正直、誠実 3 3 (3 2) すてきなえがお	バスの中で他人の足を踏み、迷いながらも謝った「わたし」の姿などを通して、正直に謝るとどんな気持ちになるのかを考えさせ、うそやごまかしをせず、素直に伸び伸びと生活しようとする心情を育てる。	★正直にあやまることができると、どんな気持ちになるでしょう。 ①正直に言うかどうか迷ったことはあるか思い起こし、出し合う。 ②「すてきなえがお」を読み、「どうしよう。」と思ったときの「わたし」の心の中には、どんな気持ちがあったかを考え、発表する。 ③「わたし」が今でも、おばさんのすてきな笑顔を忘れることができないのはどうしてかを考え、話し合う。 ④正直に謝るかどうかを迷ったときは、どんなことを考えればよいと思うかを発表する。 ▼いつでも正直でいることができるか、本を読んで考える。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○うそやごまかしをせず、素直に伸び伸びと生活することのすばらしさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 過ちに気づいたときに、自分はどのようにしているかと、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 正直に謝ることの大切さや気持ちよさ、難しさについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分の過ちに気づいたら、どんな気持ちを大切にし、どう行動していこうかと考えている。	図書館活用 法教育
	3月 (1)	【ありがとうの きもち】 B (7) 感謝 3 4 (3 4) みんな みんな、ありがとう	入学してから1年間を過ごし、さまざまな人の支えに気づいた「ぼく」の姿などを通して、世話をしてくれる人々の善意や、それに対して自然に生まれた感謝の思いについて考えさせ、感謝の気持ちを伝えようとする心情を育てる。	★おせわに なっているひとたちへの、「ありがとう」のきもちを かんがえましょう。 ①入学してからどんなことがあったかを思い起こし、発表する。 ②「みんな みんな、ありがとう」を読み、「ぼく」は誰への、どんな「ありがとう」を見つけたかを考え、発表する。 ③「ひとりで おおきく なったんじゃないんだね。」と思った「ぼく」は、どんなことを考えたかを想像し、話し合う。 ④自分は、誰にどんな「ありがとう」を伝えたいかを考え、発表する。 ⑤巻末「まなびの きろく」にシールを貼る。	○家族や日頃お世話になっている人に、感謝の気持ちを伝えようとするについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 これまでにどんな人にお世話になってきたかを振り返っている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 友達の考えを聞いて、自分の身の回りに、さまざまな感謝の気持ちがあることや、感謝の気持ちを向ける相手がたくさんいることに気づいている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 自分を支えてくれる人の存在に気づき、感謝の気持ちを伝えていこうという意欲をもっている。	共生
	3月 (2)	【あきらめないで】 A (5) 希望と勇気、努力と強い意志 3 5 こうさとびができた	なかなかできない交差跳びに懸命に取り組む「わたし」の姿などを通して、諦めずにやり抜くとどんな気持ちになるのかを考えさせ、自分のやるべきことをやり遂げるために力を尽くそうとする心情を育てる。	★あきらめないで やりぬくと、どんな気持ちになるでしょう。 ①何かを諦めそうになったことはあるか振り返り、出し合う。 ②「こうさとびができた」を読み、「わたし」はどんなことを考えながら、家でも縄跳びの練習をしていたかを想像し、発表する。 ③「やった。」と心の中で叫んだ「わたし」は、どんなことを思っていたかを想像し、話し合う。 ④諦めずにがんばったことはあるか、また、それをやり抜いたとき、どんな気持ちだったかを思い起こし、発表する。 ▼3年生になったら、どんなことをがんばりたいかを考える。 ⑤巻末「学びのきろく」にシールを貼る。	○やるべきことをやり遂げようと、力を尽くそうとする思いについて考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己を見つめる】 目標に向かってがんばった経験やそのときの気持ち、また、これからがんばりたいことなどについて、自分を見つめている。 【道徳的価値の理解を基に多面的・多角的に考える】 目標に向かってがんばるときの大変さや、やり抜いたときの達成感などのさまざまな面から、くじけずにがんばることの意味について考えている。 【道徳的価値の理解を基に自己の生き方についての考えを深める】 目標をもち、自分のやるべきことをがんばっていくためには、どんな気持ちをもっていればよいかを考えている。	体育科 特別活動(学校行事)
○「学習のまとめり」を振り返った評価(1～3月) ここまでに学んだ、【D (19) 感動、畏敬の念】【A (3) 節度、節制】【C (15) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【C (16) 国際理解、国際親善】【D (17) 生命の尊さ】【A (2) 正直、誠実】【B (7) 感謝】【A (5) 希望と勇気、努力と強い意志】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びのきろく」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。						

月 (週)	主題名・内容項目・教材名	ねらい	学びのテーマ(★)・学習活動(中心的な活動は黒丸数字) 適宜取り組むことが有効な学習活動(▼)	評価の視点	他の教育活動や 現代的な課題等との関わり
	○「後期」を振り返った評価(10月3週目～3月) ここまで学んだ【A(4)個性の伸長】【C(12)勤労、公共の精神】【C(11)公正、公平、社会正義】【B(9)友情、信頼】【B(8)礼儀】【B(6)親切、思いやり】【D(17)生命の尊さ】【C(13)家族愛、家庭生活の充実】【C(12)勤労、公共の精神】【D(19)感動、畏敬の念】【A(3)節度、節制】【C(15)伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度】【C(16)国際理解、国際親善】【D(17)生命の尊さ】【A(2)正直、誠実】【B(7)感謝】【A(5)希望と勇気、努力と強い意志】に関わって、児童に成長が見られた具体的な姿を挙げて、励ます評価をする。 「学びのきろく」に貼られたシールや、ここまでの発言の記録、ノート・ワークシート等を参照し、児童のものの見方が、一面的なものから多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているかなどに着目する。				